

令和 8 年 第 4 回 定 例 会 一 般 質 問 通 告 事 項

9 月 2 日	星 野 光 男 議 員 (木 曜 会)	質問方式:一問一答方式
	1 災害時における「しまなみ海道」の運用課題、通行止めリスク低減に向けた取り組みについて (1) 6月25日からの「しまなみ海道」の通行止めによる市民生活への影響について ア 今回の6月25日から26日の「しまなみ海道の通行止め」による市民生活への影響について市はどのように総括されているか伺います。具体的に通勤通学、経済活動・物流、医療・介護、フェリー・旅客航路、帰宅困難者への対応、その他についてお示ください (2) 自然災害に係る交通規制の基準・運用について ア 本四高速株式会社では「しまなみ海道」通行止め可能性の告知から解除に至るプロセスや基準はどのように運用されていると伺っていますか イ 今回の通行止めに関係して市民生活への影響や課題について尾道市と本四高速(株)及び関係機関と協議されている事などあればお示ください ウ 通行止め解除の見通しが立たない不安を解消するために、気象予測や安全点検の工程に基づいた「通行止め解除の見込み情報」の公表のあり方について、関係自治体と歩調を合わせて本四高速(株)への働きかけを望みたいが見解を伺います (3) 課題解決に向けた協議の実態と枠組み ア 国土交通省、本四高速(株)、広島県、愛媛県、尾道市、今治市、上島町などの関係者による「広域的な協議の場」は存在するのか、ある場合はその開催頻度と協議内容を伺います。現在そのような協議の場が無いのであれば、定期協議や災害時のタイムライン策定に向け、協議体の設立を提唱すべきと考えますが、市長の認識を伺います	

9 月 2 日	(4) 課題解決に向けた具体策と先進事例を踏まえた提案 ア 強風や大雨による長時間の通行止めに対する救済として、道路管理者車両を先頭にして低速で車列を誘導する「コンボイ（エスコート）走行」や、救急車・医療従事者・生活物資運搬・路線バス等を対象とした「エマージェンシーパス」などがあります。島嶼部の医療・介護の現場では島外から通勤されているスタッフの割合が年々増えています。しまなみ海道でエマージェンシーパスなどの導入可能性について、本四高速（株）等へ提案する考えはあるか伺います イ 災害時モーダルシフト協定の整備について 通行止めが長期化した場合に備え、フェリーや高速艇などの海上交通へ一斉に振り替える「災害時モーダルシフト協定」や臨時便の即時運航体制は、現在どのような協定・体制になっているのか伺います
---	--